


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		技術表彰、安全表彰など社内表彰制度を実施している。 社内の各部署に社訓・品質方針・品質目標・を掲示し、経営理念及び経営目標の共有・実践に取り組んでいます。								8	9										17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社内独自の全体クラウドに掲載し、周知しています。 社内独自の法令遵守にかかわるマニュアルを全体クラウドに掲載し、社員に周知しています。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		建設業法、独占禁止法に則り業務に取り組んでいます。 月1回ある社内会議にて、指導し周知しています。										10										16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当責任者を任命し、社内クラウドを使用することで、社会貢献活動(ボランティア活動等)といった、より最新の情報を社員に周知し実施しています。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		1級資格を持つ技術者が多数在籍し、これまで(創業65年)培った、独自の作業ノウハウや施工技術があります。 技術を守ることは、他社との差別化を図る上で非常に重要です。そうした権利を他社の侵害から守るには、知的財産権の活用を検討することを重要視しています。								8.2 8.3	9											16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報に繋がる書類は、鍵付きの金庫へ保管し、厳正に管理しています。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		全てのステークホルダーの権利、立場、要望を尊重し、企業価値向上に資するよう、ステークホルダーとの双方向の対話を実施しています。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		令和4年度より、事業継続計画を策定し年度初めに全体会議で新規策定・改定等見直しを行っています。										9		11								16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		株主総会において、適切な事業承継を行っています。 社内研修を積極的に行い、自社技術を若い世代へ継承しています。									8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		セクシャルハラスメント、マタニティハラスメント防止措置義務を講じ、従業員に対して周知徹底に取り組み、ハラスメントの相談窓口を設置しています。 各種ハラスメント防止措置を定め、相談窓口を設置し対応する担当など、整備をしています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		月一回、労働安全コンサルタントへ依頼し、安全面において指導、注意喚起を行っています。 各現場で指導有の現場は、是正報告書の提出も徹底しております。			3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態にかかわらず全従業員、社会保険、退職金共済、雇用保険に加入しています。社内独自の福利厚生への適用も統一しています。					5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		時間外労働の削減のため、4週8休の促進、ノー残業デーの取組をしています。 男性育児休暇の推奨、社内独自社員誕生日休暇の取得、不妊治療による特別休暇など推進しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		技術的、職業的スキルアップを目指し、社内研修、企業に必要な資格・講習に関しては全面的にバックアップし、若手技術者の育成に向けて会社総力でサポートする体制が整っています。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		メンター制度、1on1面談を取り入れ、従業員のメンタルケアに心掛けています。 予防接種の全額を負担しています。			3					8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		身体的な制約を持つ方、高齢者の方が十分に活躍できるよう、其々に合った雇用契約を面談のうえ策定し、福利厚生は統一しています。 不妊治療による特別休暇制度の導入や育児休暇制度により、産休後復帰して働くことが出来る環境を整備して、時短申請等の受入、女性の活躍を推進しています。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。	●		テレワーク(在宅勤務)、WEB会議を導入しています。			3					8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		各現場、ICT施工、デキスパートを使用し、作業の効率化に取り組んでいます。 社内クラウドを利用し、情報の共有等デジタル化に向け取り組んでいます。								8	9.1		11	12									
	21	【プラチン企業】 ・プラチン企業に認定されている。	●		プラチン企業に認定されました。			3	4				8	9			12									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物は、排出事業者として委託契約書、マニフェスト伝票による管理をしています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		太陽光発電や蓄電池の普及・促進において、県内これまで約200件の設置実績を残してきました。 電気は、現在必要不可欠なエネルギーです。再生エネルギーへの転換に注目し、太陽光発電・蓄電池の普及こそが、地球に優しく、クリーンなエネルギーの創出とCO2削減量を社員が把握できるよう、事務所にモニターを設置しています。								7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社屋に太陽光システムを設置しています。 太陽光発電を設置し自社消費、CO2削減に取り組んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		各現場において、地域の自然環境保全に協賛し、保護活動に取り組んでいます。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		会社全体でごみを減らし、リサイクル商品を積極的に使用する取り組みを行っています。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水使用量を把握し、節水に取り組んでいます。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		必需品でリサイクル製品があれば、積極的にリサイクル製品を購入し使用する取り組みを行っています。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		令和4年より毎年、熊本県消費生活課主催のフードドライブへの参加の際は、全社員へ呼びかけ食品ロスの削減に取り組んでいます。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		太陽光発電による自社消費、CO2削減を実施しています。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6						9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4			11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		安全性を確保して、引渡を行っています。			3.9						9		12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		会社を改築する際、自由な環境で活動できるオフィスづくりに取り組み、社員が自分の好きな場所で仕事ができるよう、ワンフロアでコミュニケーションが取りやすい空間をコンセプトに設計しています。									9.1	10	11.7								17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●																						17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●					2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		毎月1度、会社全体で事業所近隣の国道・清掃作業を実施、環境美化に取り組んでいます。 保育園へ砂場の整地、小学生の登下校における安全確保のため横断旗・旗入れ、注意看板の設置などにより、安心して住み続けられる街づくりに貢献しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		過去の水害や災害などを教訓に、いつでも緊急出勤出来るよう、会社全体に4班設け、夜中でも出勤出来るよう連絡体制を整え、毎日ローテーションでの出勤を元に、緊急を要する災害等への体制を整えています。				4							11.5		13.1					16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域消防団の活動に、社員3名が団員として参加しています。 菊池市消防団協力事業所として認定を受けています。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	安心安全住宅への実現のため、地震や火災、台風など災害に強く、シロアリにも強い世界基準の住宅工法であるツーバイフォー住宅を手掛けています。										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	フードロス活動の際は、社内全体へ呼びかけ、全社員にSDG'sへの意識・関心を高めてもらうよう、推進しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	市内の小学校、子供達へ交通安全の対策と共に、建設業への関心を高めるための活動を通じて、職場体験、より多くの学生への学びの場を提供しています。				4						8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	新規卒卒者の採用につきましては、県内より直近3年で11名を採用しています。				4.4					8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17	